

小規模企業景気動向調査(9月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

町内で使用できるプレミアム商品券を商工会で委託販売した。地域経済の活性化及び地域住民・就労者の利便性向上のため、消費喚起を促し、売上向上に繋がった結果となった。(プレミアム率は1.5割増)特に食料品小売業・ガソリンスタンド等での利用率が高い。一時的なことで終了しないよう、今後は、プレミアム商品券に代わる対策を講じなければならない。

(檜葉町商工会)

ここ1ヵ月でコロナ禍も収束してきておりこれから年末に向けての観光シーズンは旅行割等の効果もあり入込客増加が見込まれており、観光関連事業者が4割以上ある当地においては、追い風である。製造業・小売業への派生効果も期待できる。

(屋久島町商工会)

新型コロナウイルスの影響も減少傾向にあり、従来の姿を取り戻しつつある。今後は全国旅行支援割もはじまり、活況になることが予想される。

(宮島町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

業界全体的に新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢による価格高騰によって、資金繰りが苦しい状況が続いている。10月以降も価格高騰が続くと予想されるため、より低価格で販売しているお店を探す、価格競争が始まると考えられる。

(白神八峰商工会)

毎月多くの品目が値上げとなっていることから、あらゆる業界において原材料及び経費の負担増加に繋がっている。急激な物価上昇により、収入と支出のバランスが崩れていることから、消費者は必要最小限の消費に留まり、全体的に景気が停滞している状況にある。新型コロナウイルス感染症に続き、円安による急激な物価上昇と、地域の小規模事業者を取り巻く環境は、より一層厳しいものとなっていると感じている。

(会津美里町商工会)

全体的に売上は横ばい。材料費の上昇により、価格転嫁できない業種は利益を圧迫している。

(長南町商工会)

業界横断的には、前期から引き続き世界情勢不安や円安からくる仕入れ価格の高騰が採算を圧迫している傾向が見て取れた。また、建設業では、工期の長期化も重なり、キャッシュフローが悪化している状況も確認ができた。景気全体は、上向きの傾向が見られるものの、運転資金の面で厳しい局面に立たされている事業者が増加している結果となった。

(畑野商工会)

景気全般について、話や現場の状況として、人や物の動きは活発になってきたと感じますが、事業運営にかかる様々な経費が増加して厳しいという話も聞きます。経費の上昇を価格転嫁できているかは、製造業より、消費者に近い小売業や理美容などサービス業関係の事業者などが課題となっているようです。

(宝達志水町商工会)

10月から様々なモノの値上げが発表されており、値上げ対象物の駆け込み需要を中心に売上が増加した事業所が多い。しかしながら一時的なものであることが予測され、駆け込みの反動も懸念されるところである。

(川辺町商工会)

9月中旬に県内の飲食店等の利用に関する人数・時間制限の全面的な解除により、これまで控えられていた会食等も行われるようになり、宴会等の需要は回復傾向にあるが、2次会・3次会で利用される飲食店については、ほとんど回復は見られない。一方、物価上昇による影響は多くの業種で見受けられ、価格転嫁が十分できていない製造業、運送業、建設業等の経営状況が厳しい事業者も見受けられる。

(石央商工会)

全業種とも原油・物価高騰の影響を大きく受けている。物価高の影響による仕入単価の上昇を売上に転嫁出来ない事業所が多く、採算が悪化。製造業では供給が追いついていない状況。観光関連業種は回復してきており、旅館業・飲食業については、10月から開始される全国旅行支援に期待する声が聞かれた。飲食やサービス業の事業者は、少しずつ客足が戻りつつあるが原材料の仕入価格高騰により10月になるタイミングで価格の見直しを行う店舗も見られた。小売業は、コロナ感染者が落ち着き、客足が戻りつつあるものの、今後の消費動向の変化が注目される。原材料高騰の影響により仕入価格は高い状態が続いており、影響が

(みまさか商工会 勝央支所)

どの業種においても、コロナの影響が薄くなってきた一方で需要の傾向や顧客獲得の流れが大きく変化しており、変化への対応の有無が経営状況に影響している様子である。また、小売業・サービス業・飲食業では台風の影響による急なキャンセルや休業など、3連休の書き入れ時であるタイミングでの売上機会喪失が多かった。今年は大雨による被害はなかったものの、以前ほどの活況に戻るには未だ厳しい状況である。

(神崎市商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

<食料品>10月の最賃引き上げに伴い、値上げを行う事業者が多い。原価高騰に応じた売上増加によって、採算の改善が急がれる。<繊維工業>県境を跨いで外出する機会も増えており、冬物衣料の販売が比較的好調なことから、業況は好転しつつある。<機械・金属>代替素材の確保も容易となり、仕入高騰の悪影響は縮小傾向にある。一方、工作機械部品や建築資材等の引き合いが好調なため、今後も売上は堅調

(射水市商工会)

食品製造業において地域特産品などの分野では原材料価格は高騰しているものの、交渉力の強さから価格転嫁ができています。交流人口の増加やネット販売により売上も増加傾向にある。

(志布志市商工会)

飲食料品製造については10月からの値上げが間近であったため、駆け込み需要を見越した受注が増加し

(川辺町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

食料品関連の事業者は、先月と同様の状況が続いており、一件あたりの受注数量が伸びず、仕入れ単価上昇も続いているため価格転嫁も追いついていない。繊維工業関連の事業者は、10月中旬以降の全国旅行割、感染者の全数把握見直しなど、ウィズコロナに向けて動き始めたことは業界にとって追い風と考えているが、売上にはまだ反映されておらず、取引先とのやりとりの今後の活性化を期待したい。

(かづの商工会)

機械金属製造業においては、売上額が増加していても、仕入単価が上昇していることにより、利益率が上がらないことで採算が悪化している。

(鹿島商工会)

原材料費が毎月のように上昇しているため、収益の見通しが立たない状況。

(香取市商工会)

食料品製造業に関しては、今年になってから、材料や資材の値上がりが続いています。特に、材料を入れるガラス瓶やラベルシールなどの資材価格の値上がりが顕著で、価格転嫁しても追いつかない状況とのことです。繊維工業については、材料となる糸の価格が値上がりしていますが、商品や工賃の値上げについては取引先も理解してくれているようで、ある程度の価格転嫁ができています。機械金属製造業については、物の流通面は動き出したが、材料や電気代などの経費が増加していることで厳しい状況は変

(宝達志水町商工会)

食料品…原料高、人件費高、人手不足など状況は良いと言えない。繊維工業…7~8%仕入値がね上がったが、前もって言われていたので対応できている。機械金属…出荷量が減っている。給湯器は冬場がメインなので理解はできるが、車の製造ラインが停まっている理由が分からない。大手からも、いつもは説明があるが今回はない状態。

(野洲市商工会)

全ての製造業は、仕入上昇と売上単価と従業員の確保(賃金の上昇)のバランスが崩れ、不安定で計画が立てることが困難な状況になっている。

(田原本町商工会)

原材料高騰の影響については、仕入先からの値上げの情報が入り次第、可能な範囲で値上げ前に大量に購入するなどして対応されている。また、小売価格については、価格転嫁を行う事業所もあれば、価格は据え置きし、顧客の満足度を損なわない程度に容量を若干減らすなどの調整を行っている事業所もある。

(唐津上場商工会 経営支援センター)

食料品:売上が上昇しても原料高による仕入高騰で収益が思うように確保できない状況が続く。穀物由来の原料高騰の影響が長期化している。繊維工業:コロナ禍での原料高で売上が上昇しても収益圧迫が続く。金属品工業:原料調達の問題ないが、売上減少、仕入価格上昇が影響し収益がやや悪化傾向となっている。

(宇城市商工会)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

災害復旧に伴う公共工事の発注が見込まれることから、見通しについては、比較的明るい。ただし、建設資材が高止まりしたままなので、工事の採算については、現状のままである。

(南陽市商工会)

建設業全般は台風災害関連の公共工事や民間の修繕工事など受注が増加傾向にある。

(志布志市商工会)

建設業関連の事業者は、昨年と比べ、木材や重油・軽油などの価格高騰のため、収益は悪化しているが、9月はこれまでの価格上昇が落ち着いているようです。

(宝達志水町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

資材等の高騰で、新築工事や改築工事を思い止まる方や予算が少なくあまり大きな工事等を行う方が徐々に少なくなっている。

(北塩原村商工会)

建設資材における入荷遅れは依然として継続している状況にある。このような状況がいつ頃に解消するかは先行き不透明であるとのことであった。資材単価も以前と比較すると倍以上に跳ね上がっている物もあり、当初見積り額の金額では賄えなくなっている状況にある。そのような状況の中でも、災害復旧工事や建築需要は高まっており、仕事はある程度確保出来ている状況である。

(会津美里町商工会)

一般住宅関連の建設業について、戸建て・リフォームの依頼数が増加し、売上高は受注ベースでは増加した。しかし、建材不足、外注の職人の確保難が重なり、工期が長期化傾向にあるため、キャッシュインまでの運転が厳しい状態が続いている。また、材料の価格高騰は依然として厳しいが、代替品への置換え等を含

(畑野商工会)

ウッドショック、資材の納入遅れなど昨年度の悪い状況からはいったん抜け出し、各事業者も状況に適應できるようになったため、見通しが立つようになり多少状況は好転している。それでも資材や燃料の高騰は経費を圧迫しており、各事業所の努力で吸収しているにすぎず、今後コロナ融資の返済が開始されると苦しくな

(中央市商工会)

建設業の受注は安定しているが、資材や燃料等の高騰の影響が大きく、十分な収益確保が厳しくなっている。また、職人不足や従業員不足により、計画通りの施工に苦慮している事業者も見受けられる。

(石央商工会)

先月とくらべて売上は変化はないものの、生コンや碎石の仕入れ値が上昇しており、民間工事では価格転嫁できていない。

(みまさか商工会 勝央支所)

建設業者は、外出自粛の影響等により、特に民間事業の引き合いが減少していたが、前年同月と比べると減少幅は小さい。感染者数が減少傾向にあるため、今後は好転していく可能性がある。

(上島町商工会 弓削生名支所)

売上も減り、仕入単価の増加により資金繰りが悪化。運転資金として借入を希望する事業所も増加。

(上天草市商工会)

原材料、諸経費等の価格の上昇から採算が悪化している。また、建設業の場合完工するまでに期間を有し、期間内に原材料等の価格が変動する可能性があることから、非常に見積等の正確な工事高の積算が厳しい。よって資金繰りに悪影響を及ぼす。

(和水町商工会)

受注があるものの、資材価格高騰納品が遅れ、人手不足は続いており工期が遅れている。

(鶴の町商工会 野田支所)

材料費の高騰が止まらず、期限1か月の見積りを出して1か月後に契約が決まると、見積り時点より仕入単価が上がっているため利益として残らない。

(姫路市商工会)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

食料品関連の小売事業者は、町がコロナ対応臨時交付金による商品券を町民に給付しているため、比較的売上げが維持されている。

(南木曾商工会)

多くの小売業において、他業種に比べると仕入価格上昇分の価格転嫁が出来ている。ロードサイドのコンビニやガソリンスタンド等においては、県外の通行客の増加により、前年同期に比べ販売額が増加している。物価上昇の影響により、消費者の買い控え傾向も見受けられ、多くの事業者が今後の動向を心配している。

(石央商工会)

コロナの感染拡大したものの行動制限がなかったため、個人消費も持ち直しつつある模様

(嬉野市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

仕入単価の上昇で商品の価格転嫁を行うが、その分購入量や不必要な物をもう入することを控える傾向が強くなり、売上額は変わらないが仕入額や光熱費等が増えており徐々に採算が合わなくなってきている。

(北塩原村商工会)

食料品をはじめとする物価の上昇は依然として継続しており、利益確保の為に価格転嫁しながら販売を行っているが、消費者の所得が上がらない為、買い控えの影響を受けている。売上額については、上昇傾向にあるが、販売単価が上昇している影響であり、その反面買い物点数は減少に転じている。消費者の為を思うと、価格を据え置きして販売したいのだが、企業努力だけではどうにもならない状況に陥っている。

(会津美里町商工会)

市のプレミアム付き商品券販売開始に伴い、加盟している小売店の売上は一時的に増加傾向にある。しかし、仕入価格等の高騰により、採算性はあまり良い状況とは言えない。

(鎌ヶ谷市商工会)

輸入関連のものが多く食料品の円安による値上げが大きく、お客さんの買い控えが、購入頻度の低下などにつながっている。値上げ分が全部利益に回せるわけではないため、業界としては厳しい状況にある。

(小須戸商工会)

原材料価格の改定が今年以降4~5回程度行われており、今後も継続する傾向がある。また、食料品では、円安の影響により外国産商品の卸値が高騰、国産品も飼料高騰などにより高騰が続いている。

(射水市商工会)

食料品等小売業関連事業者は、続々と商品値上げが続いているため、今後の消費者の買い控え等消費動向悪化を懸念している。

(長野市商工会)

地元向けのスーパーの日配品は堅調であるが、商品の値上げによるこれまで売れていた商品が不調になったり代替え商品の変更が目立つ。また仕入価格の高騰により利幅は狭くなっているため薄利多売状態が続

(高山北商工会)

地域の大きい小売店は、コロナウイルスの影響により地域の方が多く来店されるようになり売上は増加傾向にあったが、仕入れ値高騰による収益性の悪化が見受けられる。燃料小売は、消費者の外出自粛により燃料購入者が減少している。自動車販売業は、消費者の購買意欲が低下していることや照会が来た際に要望されている物を仕入れることができない状態で納品までに最短でも半年待ちの車両もありお客様への提案が難しいこともあり売上確保が厳しい状況が続いている。

(佐賀市南商工会)

電気代が従来の1.5倍に上昇し今後も上昇の見込み。食料品は9月も多くの仕入れ商品が値上がりし、10月以降も値上げが続き、11月も牛乳等の値上げが迫っている。価格転嫁も順次行っているが全てできていくわけではない。

(和木町商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

宿泊関連の事業者は、県民割や全国旅行支援等切れ目のない支援策が続き、予約状況は好調である。資金繰りに関しては、支援策におけるクーポン券の増加やキャッシュレス決済の普及により、以前よりも現預金
(寺泊町商工会)

観光関連事業者はシルバーウィークもあり、概ね業績は好調、近隣への観光が定着しつつあり、一部ではコロナ前の以上の実績も見られる。
(志布志市商工会)

宿泊業においては、修学旅行や学校部活の大会・合宿による宿泊の回復、全県下での行動制限がなくなったこと等により、前年同期と比較して回復傾向にある。
(石央商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

入込客の増加は観光全般好影響を与えている。宿泊・飲食とも稼働状況も良好である。また旅行割効果による予約等も好調な事業者が多い。ただそこに従事すべき従業員確保が厳しい。業務の効率化が今後の課題
(屋久島町商工会)

コロナの感染状況も徐々に減少傾向にあることから、観光客をはじめ動きが少しずつではあるが出てきたようである。現在の感染状況をキープできるのであれば、今後の観光支援施策に期待が持てる。しかし、サービス業に於いても物価高騰の影響は出てきており、利益確保に向け価格転嫁したいところではあるが、観光客が徐々に戻ってきている中で価格を上げずらい状況にあるとのこと。まだ、コロナ前の水準までは回復に
(会津美里町商工会)

原材料を仕入れるたびに価格が変動しているため、受注の都度、売上原価の再計算をしなければならず、事務作業にかかる時間が増加している。
(香取市商工会)

洗濯業では、燃料・薬剤価格の高騰が止まらない。10月にも薬剤の価格が引き上げられる予定である。採算が過去にないほど、悪化。
(南砺市商工会)

県民割の影響で温泉旅館では宿泊者が戻ってきているため売上は増加しているが、最近の旅行ニーズに対応している宿への宿泊が目立ち、老朽化した宿泊施設ではそこまでの恩恵を受けていない。また全国割が始まったが、事務手続きがネット上であるため、特に高齢化した経営者が事務処理に苦慮しているため、その対策も急務であると考えられる。
(高山北商工会)

・観光関連業は、9月のシルバーウィークなど週末ごとに台風が上陸・接近した事でのキャンセルによる影響が大きく、先月比の売上は若干減少傾向である。洗濯業も宿泊に比例。理美容は大きな変動なし。
(河津町商工会)

・宿泊業については、今年は行動制限がなかったため、売上は前年に比べ回復基調の事業者が多い。温泉旅館は、食材仕入・ボイラー燃料費などの経費が高騰しており、経営を圧迫している。洗濯業については、一部消耗品が値上げ、燃料費の高騰が利益を圧迫している。理・美容については、徹底した感染対策を取っていることもあり、来店客数は戻りつつあるが、コロナ禍前にはまだ戻っていない。
(岩美町商工会)

・飲食関連のサービス業は、日帰り観光客の増加により、昼間の売上は上昇している。しかしながら、コロナ禍で夜の宴会自粛が続いており、全体的な売上回復の見込みが立たず、新たな設備投資も控えている。
(松浦市福鷹商工会)

・旅館業：台風の影響を受けビジネス客・観光客は減ったが、その代わりに避難のために利用する人も出てきた。理美容業：行動制限緩和で来店に対する抵抗感はなくなりつつある影響か、来店数は回復してきている。
(宇城市商工会)

・宿泊業は今月開始の支援措置が好材料であるが、洗濯業は設備等の老朽化も重なり、経営の継続自体も決断が迫られている事業者が数社ある。
(長洲町商工会)